

■『サクラ』について

- 「櫻（桜）はサクラではない。
- 「サクラ」の語源は？
 - 『古事記』に登場する木花之開耶姫（このはなのさくやひめ）と、天照大神の孫のニニギノミコトとの結婚は何をいみするのか？
- 「花見」の起源と歴史
 - サクラの花を賞でたかどうかで、縄文時代と弥生時代が分れる。
 - 奈良時代、「花」といえばウメ、平安時代以降はサクラ
 - 中世「花は桜木 人は武士」と言われ、江戸時代以降は庶民の花
 - 近代、軍国主義の象徴、ソメイヨシノ
 - 現代の「花見」は？
 - 「花の下の平等」という「花見」の姿を考えなければ、日本文化の本質は理解できない。
- 「サクラ」はなぜ春に咲くのか？
 - 花芽は前年の夏に出来ているが、秋の落葉語、休眠し、冬の寒さで休眠打破がおり、気温の上昇によって目覚める。
 - 「ウメ前線」と「サクラ前線」、北上スピードはどちらが速い？
 - 野生のサクラは9種類（ヤマザクラ、カスミザクラ、オオヤマザクラ、マメザクラ、ミネザクラ、チョウジザクラ、エドヒガン、ミヤマザクラ）、これらの自然交雑・人工交配によってできた300以上の園芸種を総称して「サトザクラ」という
- 桜餅の葉はオオシマザクラの葉を塩漬けにして発酵させたもの
 - 葉ごと食べる？剥いて食べる？
 - 関西の桜餅、関東の桜餅

「さくら さくら」の歌詞

♪ さくら さくら やよいの空は 見わたす限り

かすみか雲か 匂いぞ出ずる いざやいざや 見にゆかん ♪